2025 年 8 月 29 日
日本船主協会　企画部広報室

北九州市・下関市で「練習船 大島丸」体験航海を実施

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を一般の方にも知っていただけるよう、関係団体等と協力し、海事施設の見学会等を実施しています。

今般、当協会は、8 月 8 日(金)北九州市、翌 9 日(土)下関市において、北九州市港湾空港局・下関市港湾局・九州海事広報協会・大島商船高等専門学校（以下「大島高専」）と協力して、「練習船 大島丸」の体験航海を実施し、北九州市では約 60 名、下関市では約 80 名が参加しましたので、その模様をお知らせします。

両日の体験航海では、まず船内にある広いホールに集まり、参加者が乗船中の諸注意等について説明を受けました。その後、大島高専の先生や生徒さん達により、船を操縦する「船橋（ブリッジ)」、「機関制御室」、「エンジンルーム」のほか、実習生の宿泊スペース等、普段は見ることのできない船内設備を案内してくれました。

船橋では、様々な計器や、望遠鏡、海図等航海に必要な設備・道具がそろっていることや、実際に船員の方が船を運航する様子を見学し、電子海図にも触らせてもらいました。

また関門海峡に表示されている船舶向けの信号について、教えていただきました。

船橋見学の様子

機関制御室では、大島丸についている「可変ピッチプロペラ」の模型を用いた説明があり、羽根の向きを自在に変えることで、プロペラの回転方向はそのままに、前後それぞれに進めることを教えていただきました。

エンジンルームは高温で、会話ができない程のエンジン音が響く中、参加者は興味深そうに見学していました。

機関制御室とエンジンルーム見学の様子

参加者からは、「普段見られない機関室や操舵室も見られて嬉しかった」「ふねのたいけんをしてしょうらいのゆめをまよっていたけどふねをうごかす人になりたくなりました」「プロペラが前進後進を 1 つでするのはスゴイ」「ますます船の仕事に興味がわいた」といった声が聞かれました。

甲板見学の様子

大島丸前での記念写真

大島商船高等専門学校　「練習船 大島丸」

当協会では、今後も皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

以上